

巻貝の貝殻

巻貝の仲間は、^{なんたい}軟体動物の中でもっとも多様化したグループで、
様々な姿をしています。

巻貝というと、カタツムリのように円すい形でらせん状にうずを巻いた形を想像するでしょう。しかし、巻貝の^{かいがら}貝殻には他にも様々な形があります。ここではその一部を紹介します。

円すい形の貝殻



ニシキウズ



フトヘナタリ



カバミナシ

円すい形の貝殻でも、高さや形には様々なものがあります。

卵形の貝殻



ヤクシマダカラ



オミナエシダカラ

タカラガイの貝殻は、まるで鳥の卵のような独特の形をしています。

平形の貝殻



トコブシ



クロアワビ

貝殻はとても平たいですが、よく見ると、ちゃんとうずを巻いていて、巻貝だということがわかります。

不定形の貝殻



オオヘビガイ



ミミズガイの一種

貝殻は、ヘビがとぐろを巻いたような、不規則な形をしています。それぞれの個体によって巻き方が違います。

笠形の貝殻



マツバガイ



ウノアシ

他の巻貝と違って貝殻はうず巻きになっていません。

貝殻が退化



アメフラシ



アオウミウシ



アマクサアメフラシの貝殻

ウミウシの仲間では、貝殻は完全に無くなっていますが、アメフラシやナメクジなど貝殻の名残を持つものもいます。